

## 開会のことば

(社)日本技術士会元副会長  
(財)国民工業振興会専務理事

吉武進也です。

私と中山輝也さんは、梅田さんの会長時代の4年間を副会長としてお仕えしたのです。

梅田さんは、稀に見る統率力と優れたお見通しをお持ちで、現在の(社)日本技術士会の基を築かれた中興の祖として、敬意と尊敬をしている次第です。

梅田さんが会長になられたときに、本日お見えになっている保坂さんがお辞めになられ、梅田会長から送別会を盛大に行うように言われ、その後、私は、今日まで何ゆえか、(社)日本技術士会のお祝いの集いとか、送別会などの立案者にされてきたのです。

勿論、お働きなられるのは、会長をはじめ、発起人の皆様方、事務局の方々です。

そろそろ、バトンタッチしたいのですが、心残りは、敬愛する梅田さんのお祝いの集いを持つチャンスが無かったことです。

この度、梅田さんが80歳・傘寿を迎えられたことをお聞きし、高橋会長と

もご相談して、傘寿のお祝いを行うとしたのですが、梅田さんをご辞退でもされては困るので、「傘寿のお祝いを兼ねて暑気払い」と言うことで梅田さんのご了解を得て進めてまいったのです。

その最中に、竹下参与が、恐らく(社)日本技術士会では、初めての内閣総理大臣表彰を受けられる吉報が入りましたので、ご一緒にお祝いの集いを持つことにしたのです。

間際になって、気がつきましたが、ご参列の皆様からお祝いの記念品代を頂戴しているのですが、お祝いするのがお二人ですので、今回は、二で割ったお祝いの記念品代をお渡しすることになって、梅田さん、竹下さんには申し訳ない次第で、ご勘弁頂きたいとお願いする次第です。

その代り、皆さまで、お二人を楽しく祝って頂きたく存じます。

幸いにも、(社)日本技術士会のアイドルになっている、二期会ソプラノ歌手加藤江美女史・ピアニストの法領田れい子女史が、存じ上げているお二人をお祝いしたいと、友情出演と言うか、お出で頂きましたので、是非音楽とともにお祝いの楽しい集いにして頂きたいと存じます。

簡単でございますが、開会の言葉とさせていただきます。

有難うございました。